

第121号

編集・発行

2019・5・21

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町17

TEL 0179(22)0262

FAX 0179(23)4146

さんのへ 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



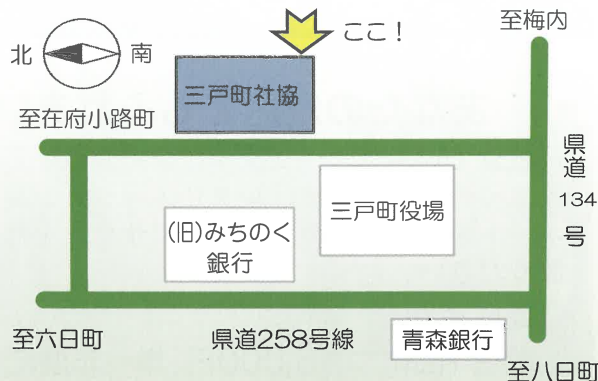
見守り活動研修会 悪質商法への対処法に関するグループワークの様子 (H31.3.6 三戸中央公民館)

■おもな内容

ページ

- ふれあい交流サロンの取り組み 2
- こころの健康講座・見守り活動研修会
シニアクラブ女性部日帰りレク・障がい者交流事業 3
- 平成31年度事業計画 4、5
- 平成31年度収支予算 6
- 平成31年度社協会費納入のお願い 6
- 昔とった杵柄 シルバー健在 7
- 認知症カフェの開設、各種お知らせ 8

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

ふれあい交流サロンの取り組み ～地域の居場所づくり～

当協議会では、町民の皆さんが主体となって行う、ふれあい交流サロン活動の支援を行っています。今回は3月に袴田地区と松原地区で開催されたふれあい交流サロンの様子をご紹介します。

どちらの地区でも、地域の高齢者等を見守るボランティアである「ほのぼの交流協力員」の皆さんが中心となって、ふれあい交流サロンを企画しています。

どちらの会場も笑い声の絶えない一日となりました。

～ふれあい交流サロンとは～

最近、ご近所同士であつてもあいさつや玄関前での立話など、コミュニケーションをとったり、交流する機会が少なくなってきました。

サロンはそんな地域の方たちが集まる機会を作り、おしゃべりやレクリエーションを通じて、いきいきとした楽しい生活を送ることを目的とした活動です。



袴田地区では3月11日(月)に袴田公民館でサロンを開催し、地域住民26名が参加しました。



松原地区では3月25日(月)に松原集会所でサロンを開催し、地域住民21名が参加しました。



あなたの地区でもふれあい交流サロンを開催しませんか？

社協ではふれあい交流サロンを開催する団体に助成を行っています。開催に向けたアドバイスやチラシの作成、レクリエーション用具の貸し出し、職員の派遣など、サロン開催のサポートを行いますので、一緒にサロンを作っていきましょう。興味を持たれたらまずはお相談ください。

◇助成金額◇

開催1回につき5,000円、単一年度につき15,000円をそれぞれ上限とします。

◇助成金の申請手順◇

申請書の提出→助成決定の通知→サロン実施→報告書、請求書提出→助成金交付

～こころの健康講座～

平成31年3月13日(水)に三戸町総合福祉センターふくじゅそうで、介護をしている人のストレスケアをテーマに、こころの健康講座と題した研修会を開催し、町民17名がストレスとどう向き合い、どう付き合っていくのかを学びました。

研修後は講師を囲んで懇親会を開催し、会話にも花が咲きました。



講師の臨床心理士 瀧澤 志穂 氏

見守り活動研修会

平成31年3月6日(水)に三戸中央公民館で、高齢者の見守りに関わる町内会長や民生委員、ほのぼの交流協力員を対象とした研修会を開催し、56名が参加しました。

今回の研修では、青森県消費生活センターの前田裕之氏を講師に招き、悪質商法への対処法や地域での見守り方などについて、演習を交えながら学びました。



講師の県消費生活センター 前田 裕之 氏

シニアクラブ女性部日帰りレク

平成31年3月8日(金)、三戸町シニアクラブ連合会女性部主催の日帰りレクリエーションを開催し、会員22名が参加しました。

この日は久慈市の平庭山荘で昼食後、葛巻町のワイン工場を見学し、親睦を深めました。

三戸町シニアクラブでは随時会員を募集しています。入会を希望される方は地区の老人クラブにお問い合わせください。



食事を楽しむ参加者の様子

障がい者交流事業

平成31年3月29日(金)、三戸町身体障害者福祉会と地域活動支援センター憩いの森あすもこっの合同による障がい者交流会をジョイワーク三戸で開催し、13名が参加しました。当日は三戸スポーツクラブEnjoyの松原栄子氏を講師に招き、障がいの有無を問わずに楽しめるレクリエーションで交流を深めました。



映画「男はつらいよ」の
主題歌に合わせて準備運動

平成31年度事業計画と収支予算について

平成31年度事業計画



本会の基本理念である「住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせる心の通い合う福祉のまちづくり」の実現に向けて、三戸町の行政計画である「三戸町地域福祉計画」と連携し、町民の目線に立った事業運営に努め、平成31年度は下記事項を重点目標として取り組んでいきます。

重点目標

- 「三戸町地域福祉活動計画」に基づき、町民や関係機関・団体と連携を図り、ほのぼの見守りネットワーク事業を中心とした住民参加と小地域ネットワーク活動の推進に努めます。
- 高齢者や心身の障がい、傷病等により支援が必要な方が、安心して地域で生活を送ることが出来るように、介護保険事業や各在宅福祉サービス（配食サービス、外出支援サービス、福祉安心電話サービス等）を適切に提供します。
- 認知症カフェを設置し、認知症の人と家族、様々な課題を抱える人への支援を行うとともに地域全体が認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進に努めます。
- 安心して子育てができるよう、乳児へのおむつ等購入費助成事業により、子育て世帯への支援を行います。
- ボランティア意識の啓発を目的に、様々な研修を実施し、地域で活躍するボランティアを育成します。
- シルバー人材センター事業の一層の周知につとめ、利用者増と新規会員の拡充を図り、シルバー人材センターの更なる活性化を目指します。

実施する事業について

住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

内 容 地域の絆を深めるための事業、住民主体の活動の支援を行う事業

主な事業 ほのぼの見守りネットワーク事業、ふれあいサロン、認知症カフェ など

高齢者福祉の充実

内 容 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促す事業、介護者への支援を行う事業

主な事業 寿なかよし会、在宅介護者支援事業 など

障がい者福祉の充実

内 容 障がい者の生きがいづくりや、障がいへの理解を深めるための事業

主な事業 地域活動支援センター憩いの森あすもこっ、障がい者と生徒の交流会 など

児童福祉の推進、ひとり親家庭への支援の充実

内 容 下校時の見守りや子育て世帯への支援、ひとり親家庭への支援を行う事業

主な事業 子ども見守り隊、ひとり親家庭相談支援事業、乳児おむつ等購入費助成事業 など

福祉教育、ボランティア活動の推進

- 内 容** 交流や体験学習による福祉教育の推進とボランティアの育成を図る事業
主な事業 社会福祉大会、ボランティアスクール、福祉図書購入助成事業 など

福祉情報の提供、相談支援体制の充実

- 内 容** 広報誌やホームページによる情報の発信、相談支援を行う事業
主な事業 社協だよりの発行、心配ごと相談事業 など

地域生活支援事業

- 内 容** 地域で生活するための支援を行う事業
主な事業 移送サービス、配食サービス、福祉安心電話、貸付事業、フードバンク など

在宅福祉サービス事業

- 内 容** 法令に基づき、介護保険サービスや障害福祉サービスを提供する事業
主な事業 訪問介護、障害福祉サービス、訪問入浴、居宅介護支援

その他の事業

- 内 容** 社会全体の利益、公共の利益となるような事業
主な事業 シルバー人材センター、三戸町一括受託業務

新規事業について

認知症カフェの開設

- 目的と内容** 認知症の人と家族、課題を持つ人への支援を通じて、認知症に対する正しい理解を広めることを目的に、住民と専門職の対話の場をつくります。令和元年6月から総合福祉センターふくじゅそうで月1回、開設します。

子どもが生まれた世帯へのお祝い

- 目的と内容** 子育て世帯への支援を目的に、当該年度に子どもが生まれた世帯に対し、おむつ等の購入費用を助成します。

福祉図書購入費の助成

- 目的と内容** 将来を担う子ども達への福祉教育の推進を目的に、町内の小中学校に対して福祉図書の購入費用を助成します。

廃止する事業について

令和元年6月30日をもって、訪問入浴サービス事業を廃止することとなりました。

本事業は昭和63年3月、「24時間テレビチャリティー委員会」から車両の寄贈を受けて開始いたしましたが、利用者数の減少や車両の老朽化などにより、事業の継続が困難になったことから、この度の決定となりました。なお、利用者の皆様に対しては既に代替手段のご提案をさせていただいたところであります。

利用者及び関係者の皆様には、ご不便をおかけすることを深くお詫びするとともに、これまで多大なるご理解とご支援をいただいたことにつきまして、心より感謝申し上げます。

平成31年度収支予算



平成31年度一般会計資金収支予算書

(単位:千円)

支出			収入		
種類	勘定科目	本年度 当初予算	種類	勘定科目	本年度 当初予算
事業活動による支出	人件費支出	181,744	事業活動による収入	介護保険事業収入	80,756
	事業費支出	12,042		障害福祉サービス等事業費収入	7,121
	事務費支出	21,606		会費収入	3,413
	貸付事業費支出	280		事業収入	32,082
	助成金支出	130		共同募金配分金収入	2,522
				助成金収入	268
				受託金収入	78,671
				貸付事業等収入	280
				経常経費寄附金収入	250
				受取利息配分金収入	3
				その他の収入	176
	事業活動による支出計(1)	215,802		事業活動による収入計(4)	205,542
施設整備等による支出	固定資産取得支出	7,636	施設整備等による収入	施設整備等収入	0
	施設整備等による支出計(2)	7,636		施設整備等による収入計(5)	0
その他の活動による支出	積立資産支出	7,261	その他の活動による収入	積立資産取崩収入	10,162
	その他の活動による支出計(3)	7,261		その他の活動による収入計(6)	10,162
支出合計(A) = (1) + (2) + (3)		230, 699	収入合計(B) = (4) + (5) + (6)		215, 704
当期資金収支差額合計(C) = (B) - (A)					-14,995
前期末未支払資金残高(D)					49,711
当期末支払資金残高(E) = (C) + (D)					34,716

平成31年度社協会費納入のお願い

当協議会では、「住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせる心の通い合う福祉のまちづくり」の基本理念のもと、町民の皆さまと対話を図り、地域福祉事業を推進しております。

この地域福祉事業の一層の発展、強化のため、社協会費の納入に是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

会員区分	会費額(一口)
一般会員	1,000円
団体会員	3,000円
賛助会員	5,000円

会費納入期間

令和元年7月1日 から 令和元年7月31日

期間中、皆さまのお宅へ福祉協力員さん、もしくは班長さんが納入書を持ってお伺いいたします。

昔とった杵柄

シルバー健在



飯豊 トシさんの巻

昭和十四年六月十日生まれ 七十九歳

今回のシルバー健在は、ニコニコ笑顔が素敵な飯豊トシさんをご紹介します。

飯豊さんは、4人姉弟の次女として旧斗川村の武士沢に生まれます。

幼少の頃は野山を駆け回るのが大好きな女の子だったようで、「姉弟のなかで私が一番活発だった。両親にも、これでは男か女かわからないなどよくたしなめられたわ」と照れ笑い。

飯豊さん姉弟は女の子が

3人、末っ子が男の子でしたので、年頃になると方々

から縁談が持ち込まれたようですが、母のませさんは「順番があるから」と長女から順に嫁がせたそうです。

飯豊さんにその順番が来たのは21歳のとき。相手は1つ年上の末治さん。2人の子宝にも恵まれ、仕事に家事、育児と慌ただしくも充実した毎日を過ごして

いましたが、その幸せも結婚から僅か10年ほどで終わりを迎えます。

32歳の若さで夫の末治さんが亡くなったことで、飯豊さんは会社勤めの傍ら、夜は内職、休みの日は農家の手伝いと、女手一つで家計を支えるべく、まさに奮闘します。

当時のことを尋ねると「楽しかったよ。家事が行き届かないこともあったから、

確かに大変だったのかもしれない。だけど、つらいと思ったことはなかったわ」と話します。

「子ども達が内職を手伝ってくれる間、私がご飯を作ってたね」「買ってきた牛乳を兄妹で分けると、下の子がコップを横からジーツと見て、お兄ちゃんの方が多い！」なんて言ってたね」と、思い出がたくさん。

女手一つで奮闘した時間は、親子3人で支え合ったかけがえのない時間でもあったわけです。

60歳で33年間勤めた三戸電子音響を退職。

昔から踊りや編み物が好きで、「姉弟揃って盆踊りに参加するのが好きだったから、ずいぶん遠くのお祭り

にも参加したのよ」と話す飯豊さんは、これを機に老人クラブや三戸町高齢者学級「寿教室」に加入。趣味を通じて皆さんの仲間が来たといいます。

寿教室では20年連続の皆勤賞、踊りの講師を務めて早13年。週に3日は編み物仲間が集まり、これからの時期はパークゴルフやグラウンドゴルフ、もちろん踊りの練習も毎日欠かさず、「ずっと家にいたら飽きちゃうもの」という言葉のとおり忙しくも楽しい毎日。

孫が5人にひ孫が2人、本当に皆よくしてくれると飯豊さん。これからどうぞお元気で。

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、
ありがとうございました。

(平成31年2月1日～平成31年4月30日まで)

寄附金の部

・橋爪商事株式会社 三戸支店 様	8,000 円
・三戸町母子寡婦福祉会 様	11,201 円
・三戸中央病院看護師会 様	10,000 円
・匿名 様	20,000 円
・仲良し会 エコタワシづくり 様	8,000 円

寄せられた善意は、地域福祉活動のために使わせていただきます。

心配ごと相談所

心配ごと相談所では、相談員が心配ごとや
困りごとの相談に対応しています。ひとりで
悩まず、どんなことでもご相談ください。

- 開設日 毎月最終水曜日
- 時 間 午後1時 から 午後3時
- 場 所 三戸町総合福祉センター
ふくじゅそう3階 小会議室3

シルバー人材センター

屋内外の清掃や草取り、農作業など、身近
なお仕事がありましたら、ぜひシルバー人材
センターにご依頼ください。

シルバー人材センターの会員が真心を込め
て作業いたします。

会員随時募集中！

皆さんの経験を地域のために役立ててみませんか

オレンジカフェ ふくじゅそう 令和元年6月18日オープン

～ コーヒーやお茶を飲みながら、忙しい合間、ホッとひと息つきませんか ～

当協議会では、令和元年6月からオレンジカフェふくじゅそうを毎月第3火曜日に三戸町総合福祉センターふくじゅそうに開設します。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

オレンジカフェとは

地域住民はもとより、認知症の人とその家族、色々な悩みを持つ人など、**どなたでも安心して、おしゃべりや専門家への相談ができる場所**です。

オレンジカフェは、認知症の人や介護をしている人だけのカフェではありません。**認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるための場所**です。オレンジカフェという名前にはそうした願いが込められています。

🌻 開設日 毎月 第3火曜日 🌻 時 間 午後1時30分～午後3時30分

🌻 場 所 三戸町総合福祉センター ふくじゅそう 地下1階 多目的スペース
〒039-0132 三戸町大字在府小路町17番地

🌻 参加費 ひとり 100円 🌻 申込み 不要

🌻 内 容 13:30開店・カフェタイム→14:00ミニ講話→
14:30カフェタイム→15:00Q&A→15:30閉店



6月のミニ講話は

記念すべき第1回目のミニ講話のテーマは「**薬**」です。

普段何気なく飲んでいる薬にも、意外と知らないことがたくさんあるかもしれません。

知ってるようで実はよく知らない薬のことをいまいちど薬剤師さんから聞いてみませんか？

次の開設日は7月16日です。今後も社協だよりやチラシなどで開設日をお知らせしますのでお見逃しなく！

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146